



ちやろ 茶路小中学校

開 校／小学校 明治34年7月15日

中学校 昭和23年7月8日

所在地／白糠町マカヨ1番地1

TEL (01547)2-2797 FAX 2-4985

学校長／山 野 哲 也

教 頭／野 田 哲 史



- ◆教育目標 思いやりのある 心のやさしい子 (情)
よく考え すすんで学ぶ子 (知)
ねばり強く やりぬく子 (意)
健康で たくましい子 (体)

◆特色ある教育活動等

「施設一体型」「少人数」「地域に根差す学校」という茶路ならではの強みを生かして、系統性・連続性のある指導実践に取り組み、子供の良さや可能性を最大限に引き出す教育活動を行っています。各教科においても、目指す姿（15歳像）と9年間の学びを整備し、小中一貫教育を進めています。

① プランニングノートの活用

学校での学習を振り返り、家庭での学習に連動させる「学びの輪」の定着・充実を図るため、プランニングノート（通称Pノート）を活用し、児童・生徒と家庭・教員間の連携を密にした取り組みをしています。

② ECタイム

英語・中国語の学びを通して、未来を生きる子供たちに国際社会を生き抜く力を育てています。

③ スピーチデイ

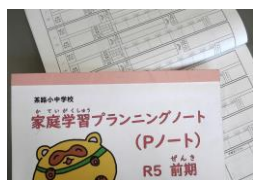
児童生徒が与えられたテーマに沿ったスピーチや質問、感想、アドバイス等を交流することで、「話す力」「聞く力」といったコミュニケーション能力を高めたり、相互理解を深めたりしています。

④ 小学校への乗り入れ授業

小6の理科と社会、小5・6年の外国語、小1・2年、3・4年の外国語活動、全学年の音楽に教科担任制を導入し、通年にわたり中学校の先生が授業を行っています。また、小6の国語・算数でも、中学校教員が小学校で数単元の乗り入れ授業を行っています。

⑤ なわとびチャレンジ

継続的になわとびに取り組み、基礎体力の向上を目指しています。子供たちは、同じ学級の人や、縦割り班の人と教え合ったり励まし合ったりしながら、他の人との競争ではなく、一人一人が目標を立て、その達成に向けて努力を続けています。



Pノート



ECタイム



スピーチデイ



社会乗り入れ



なわとびチャレンジ